

授業改善書

科目名	乳児保育Ⅱ
担当者	池田純子

授業の概要

乳児の生活と保育について学ぶ。その際、保育所保育における乳児保育のあり方を概観しながら、乳児にとって望ましい保育とはどのようなものかを検討する。具体的には、基本的な生活習慣や保育室の環境について検討し、乳児のケアを考えながらその理論と方法を学ぶ。さらに、保育の指導計画の立て方や記録、評価などを考察し、保育士として乳児の保育に携わることができるように、援助のあり方を学ぶ。

授業の問題点

秋期に入ってから教員の変更で、学生は戸惑うこともあったようだが、「乳児保育Ⅰ」の授業で基礎は身につけていたため、「乳児保育Ⅱ」への導入はスムーズであった。演習を含む授業形態であることや、前回の授業に積み重ねていくことが多い内容となっているため、欠席をした場合は1週間内に補講や課題で追いついておく必要がある。それらを考えると専任教員が担当することが望まれる。

学生の授業満足度

学生アンケートから読み取る授業満足度は全体的に高いといえる。示しているシラバスに沿って、できるだけ学生が主体的に学べるように意見を取り入れ、自分から学ぶことができるようにしたことがよかったのだと考えられる。また、授業の予習・復習についてが一番低くなっている。このことは、改善点に述べるが、学生も自覚していたことがアンケートからもわかる。

授業改善の課題と方策

実習等も経験していないため、保育所等の施設や乳児の実際を想像することが難しいため、できるだけ子どもたちや保育所、子ども園、乳児院等の実際の様子を映像を使って示すように心がけた。また、実習室や図書館を使用することにより、学生は乳児保育について身近に感じることができるようになったことがよく分かった。

1 時限目の授業で出席すること自体が大変だと最初は言っていたが、保育の仕事を具体的に学ぼううちに、朝が早いことに慣れていかなければならないというコメントが増えていったので、1 限の授業に対する課題と方策として挙げておきたい。

その他